



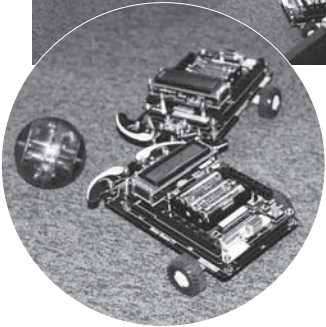
札幌日大中学校・高校 ロボット部

平成20年に発足した札幌日大中学校・高校「ロボット部」。中学高校合同で約40人の生徒たちが、ロボット制作を行っています。中高一貫の特色を生かし、中学生が高校生からアドバイスを受け、技術を磨いているそうです。

毎年3月に開かれるロボット競技の全国大会「ロボカップジュニア」に、北海道代表として6年連続出場している常連校です。

部活の様子を見学させてもらいま

した。ロボットと聞くと、リモコンで操作するものを想像して



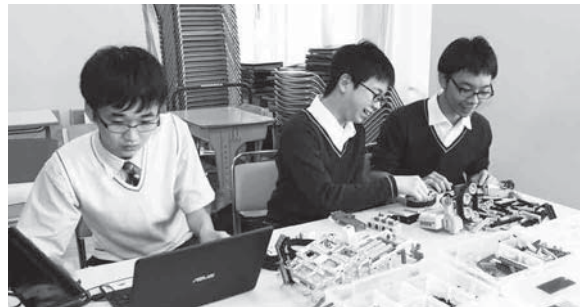
いましたが、部員たちが取り組んでいるのは、プログラムに従ってリモコンなしで動く「自律移動型ロボット」。

4月に入学した中学1年生が、自分で組み立てたロボットでサッカーを行っています。シュートを決めた瞬間には、「やった！」と歓声も。

今年3月の全国大会に出場した中学3年の3人は熱心に制作中。次の全国大会で優勝し、さらに上の世界大会に出場することが目標です。メンバーの仲村たいがさんは「将来は介護や福祉に役立つロボットを作りたい」と夢を話してくれました。

同部は小学生対象のロボット教室を開き、楽しさを広めています。「ロボット制作はチームワークを育てて、課題解決能力も身に付きます」と顧問の佐藤潤教諭。

頼もしい未来の技術者たちが育っています。



3月の全国大会に出場した皆さん。次回の優勝を目指し、制作に励んでいます

まめ記者

達成感あふれる運動会



北の台小学校6年
吉田暖さん
(児童会長)

今年の運動会は「負けても、勝っても、最後は笑顔！」をテーマに行われました。北の台小学校の実行委員会は全部で9つあります。それぞれの係が最初から最後まで運動会を支えます。私たち書記局は、進行係として運動会の開会式と閉会式の司会進行を務めました。

また、校長先生は開会式で全校児童に迫力のある力強いエールを毎年送ってくれます。そのおかげでみんなに気合が入り、どの種目にも一生懸命取り組むことができました。一番の見どころは、全校児童で踊るよさこいです。今年の北の台小学校のよさこいは、各学年による見せ場があつて、かわいいうるや迫力のある踊りもありすごく楽しめました。

今年、最後には勝敗以上に達成感あふれる運動会になりました。



みんなの気合が入った運動会